

令和元年度 決算報告書

国立大学法人 弘前大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	10,376	10,763	387	(注1)
施設整備費補助金	1,252	1,043	△ 209	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付償還時補助金	-	-	-	
補助金等収入	137	268	131	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	31	31	-	
自己収入	26,380	27,168	788	
授業料、入学金及び検定料収入	4,133	4,030	△ 103	(注4)
附属病院収入	21,939	22,789	850	(注5)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	308	349	41	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,957	3,747	790	(注7)
引当金取崩	141	143	2	
長期借入金収入	1,110	1,014	△ 96	(注8)
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	207	214	7	
学内借入金	-	-	-	
計	42,591	44,391	1,800	
支出				
業務費	35,818	36,078	260	
教育研究経費	15,390	15,127	△ 263	(注9)
診療経費	20,428	20,951	523	(注10)
施設整備費	2,394	2,088	△ 306	(注11)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	137	268	131	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,957	2,525	△ 432	(注13)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	1,285	1,281	△ 4	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
学内施設整備費	-	-	-	
計	42,591	42,240	△ 351	
収入－支出	-	2,151	2,151	

○予算と決算の差異について

- (注 1) 運営費交付金については、退職手当及び年俸制導入促進費に追加配分があったことや、前年度からの繰越額を使用したことに伴い、予算額に比して決算額が387百万円多額となっています。
- (注 2) 施設整備費補助金については、一部工事を次年度へ繰延べしたことなどにより、予算額に比して決算額が209百万円少額となっています。
- (注 3) 補助金等収入については、地方公共団体等からの補助金の受入額が見込みよりも増となったことにより、予算額に比して決算額が131百万円多額となっています。
- (注 4) 授業料、入学金及び検定料収入については、高等教育修学支援新制度開始に伴い、入学科徴収猶予者が増加したことなどにより、予算額に比して決算額が103百万円少額となっています。
- (注 5) 附属病院収入については、外来化学療法及び高額手術の件数増などにより、予算額に比して決算額が850百万円多額となっています。
- (注 6) 雑収入については、当初予定していなかった保険金収入や財務収益の増などにより、予算額に比して決算額が41百万円多額となっています。
- (注 7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、寄附金の獲得に努めたこと及び治験の依頼増などにより、予算額に比して決算額が790百万円多額となっています。
- (注 8) 長期借入金収入については、機器の購入等にかかる経費が当初よりも減となったことなどにより、予算額に比して決算額が96百万円少額となっています。
- (注 9) 業務費（教育研究経費）については、教員の採用計画の見直し及び経費節減により、予算額に比して決算額が263百万円少額となっています。
- (注 10) 業務費（診療経費）については、高額薬剤及び特定保険医療材料使用増により、予算額に比して決算額が523百万円多額となっています。
- (注 11) 施設整備費については、(注2)(注8)で示した理由により、予算額に比して決算額が306百万円少額となっています。
- (注 12) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が131百万円多額となっています。
- (注 13) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、寄附金による支出が見込みより減となったため、予算額に比して決算額が432百万円少額となっています。